

資料7-3-①

令和6年(2024年)5月29日(木)
第7回市民参加推進審議会

市民参加実施状況報告書①

市民参加を実施した計画・条例等の名称	実施所管名
八王子市男女共同参画推進条例	市民活動推進部 男女共同参画課
策定・制定等の目的	策定・制定期間(準備～策定・制定)
男女共同参画の推進に関し、市、市民、教育関係者、事業者及び地域活動団体の責務を明らかにするとともに、市の施策の基本となる事項を定めることにより、その施策の総合的かつ計画的な推進を図り、もって様々な場面において、男女が共に参加する社会を実現すること。	令和3年(2021年)4月から 令和5年(2023年)3月まで
1. 策定・制定等にあたり実施した市民参加の方法	
(1)(仮称)八王子市男女共同参画推進条例制定検討会(以下「検討会」という。) (2)アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動 (3)パブリックコメント手続	
2. 上記1で記載した市民参加方法を採用した目的、及び実施前に期待した効果	
(1)学識経験者、各種団体及び公募市民による議論を通して意見聴取を行い、条例の素案をまとめること。 (2)市内事業者、八王子LINE登録市民、学童保育所入所者の保護者及び男女共同参画センター主催講座参加者等から、男女共同参画に関する取組や課題などについて調査を行い、条例制定後の具体的な施策につなげること。 (3)条例の素案について、幅広く意見を求めるとともに広く周知すること。	
3. 上記1で記載した市民参加方法の実施スケジュールをどのような意図で設定したか	
検討会での議論にあたり、上記1の手法で実施した市民参加の結果も参考にさせていただくため、検討会の開催予定を踏まえてスケジュールを設定した。	
4. 上記1で記載した市民参加方法の対象者をどのような意図で設定したか	
条例において、市、市民、教育関係者、事業者及び地域活動団体の責務を掲げるにあたり、多様な主体における男女共同参画の推進状況(取組や課題等)を把握するとともに、条例や施策に関する意見を求めるため。	
5. 周知方法及び周知時期(実施のどのくらい前に周知したか)	
(2)各取組により異なるが、実施と同時又は直前に周知することが多かった。 (3)募集開始時に広報はちおうじ(特集号「ばれっと」)に掲載、市 SNS、はちおうじ会議所だより(八王子商工会議所発行)及び協議会だより(NPO 法人八王子市民活動協議会発行)等により周知した。	
6. 実施場所(どのような意図で実施場所を決定したか)	
対面での聞き取り調査については、新型コロナウイルス感染症が流行していたため、オンラインで開催することもあった。時間帯は主に平日の夜間に設定し、多様な属性の参加者が参加しやすいようにした。 アンケート調査については、回答及び集計のしやすさを考慮し、紙だけでなくオンライン(電子申請、LINE 及び Microsoft Forms)でも行った。	

7. 意見反映について(寄せられた意見は、計画や条例等策定のどの段階で活用したか)

寄せられた意見は、主に条例の素案をまとめる過程で活用した。また、現在も施策の構築にあたり参考にしている。

8. よりよい市民参加のための新たな実施方法について(どのようなアイデアが考えられるか)

事業者や学生を対象に実施した聞き取り調査は、対象と職員との個人的なつながりがあって実現したものであり、ゼロベースから実施するのは難しく感じている。そのため、こうした取組実績をデータベース化して積み上げ、庁内で共有できればよいのではないかと感じている。

9. 市民参加促進について(促進のために必要なことは何か。市民が自主的に参加したくなるような動機づけとして考えられるものはあるか。)

本件とは別に、生涯学習フェスティバル(令和5年(2023年)10月28日開催)において、オープンハウス型の説明会を実施した際に、展示したパネルの一部でシールアンケートを行い、111名(大人88名、子ども23名)の参加があった。子どもと楽しみながら参加でき、かつ、参加している実感が得られるものであると参加しやすいのではないかと感じている。

10. 上記1で記載した市民参加の方法を実施した感想(市民参加とはどうあることが望ましい・あるべきと感じたか。)

男女共同参画の推進にあたっては、社会全体においてアンコンシャス・バイアスを含む性別による固定的な役割分担意識に基づく構造的な問題等が依然として根強く残っているなど、多くの課題が残されている。アンコンシャス・バイアスとは「無意識の思い込み」と表現されることもあり、過去の経験や見聞きしてきたことに影響を受けて自然に培われるものである。こうした市民参加の機会の提供を通して、市民等が、これまで無意識のうちに、性別による決めつけや押し付けをしていた(あるいは、受けていた)ことに気づき、性差についてあらためて考えていただく契機になった。市民参加が意見聴取だけでなく、意識啓発の効果も持つツールであることから、思考を促したり、行動変容につなげる内容が含まれていても良いのではないかと感じている。